

平成27年度 事業計画書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

1. 研究に対する助成（定款第4条第1項第4号）

- ・第22回コニカミノルタ画像科学奨励賞（計750万円；26年度実績750万円）

昨年同様「光と画像領域での新たな挑戦」を基本テーマに、昨年並みの件数、金額で計画しました。

奨励賞（優秀賞）	3件程度・助成金各100万円（300万円）
奨励賞	9件程度・助成金各50万円（450万円）

2. 研究機関、学会及び研究会に対する助成（定款第4条第1項第2号）

1) 学会助成（計155万円；26年度実績135万円）

日本写真学会での画像と光の研究領域の幅が写真の枠を超えて広がってきており、27年度より他の2学会並みに増額する方向で計画しました。

(社)日本写真学会	助成金：50万円（H26は30万円）、時期：5月、「コニカミノルタ写真研究奨励金」として1名に実施予定
(社)日本画像学会	助成金：55万円、時期：3月、「日本画像学会コニカミノルタ科学技術振興財団研究奨励賞」として1名に実施予定
(社)日本光学会	助成金：50万円、時期：11月、「コニカミノルタ光みらい奨励金」として計3名に実施予定

2) 大学研究助成（計100万円；26年度実績100万円）

東京工芸大学への助成は、27年度より研究への助成2件に実施内容を変更する方向で同大学と調整しました。

東京工芸大学	「コニカミノルタ科学技術振興財団研究奨励金」として、工・芸各学部の優れた研究に各1件、50万円の助成を行う（工・芸の共同研究を含む）
--------	--

3. 国際会議、シンポジウム及び研究集会の開催に対する助成（定款第4条第1項第3号）

- ・国際会議の助成（計160万円；26年度実績90万円）

画像・光学・医療・材料等の領域より、100名以上（目途）が参加する国際会議に助成することを基本にしています。

ICAIは、当財団としては、他の助成先候補と同額の30万円の助成金額を想定しておりましたが、以下の理由により、30万円を100万円に増額する方向で計画いたしました。

- ① 今回が第1回であり、財政的な援助が望まれている、②国際会議の領域が当財団の助成領域と非常に関連が深い、③当財団が助成している学会（日本画像学会、日本写真学会）を含む画像関連の5団体が共同して開催する国際会議である。

平成27年度助成先案	助成金	国際会議の内容
The 1 st International Conference on Advanced Imaging (ICAI)	100万円	時期：平成27年6月17～19日 会場：一橋講堂（学術総合センター） 参加人数：約550名（内、海外から約140名）
第20回微小光学国際会議 （MOC '15）	30万円	時期：平成27年10月25～28日 会場：福岡国際会議場 参加人数：約210名（内、海外から約70名）
第22回日韓コンピュータビジョン 会議（FCV2016）	30万円	時期：平成28年2月17～19日 会場：ひだホテルプラザ 参加人数：約150名（内、海外から約50名）

4. 予定助成金額合計：1,165万円（26年度実績1,075万円）